

教育と療育を繋ぐ、放課後等デイ・児童発達支援
～くらしの力を育てる療育～

湧気自然塾だより NO 1 2

勝田郡奈義町荒内西 1050-7 3月 日

電話 0868-20-1755 FAX0868-20-1766

すべての子ども達に豊かな育みを！！

子ども達の抱える様々な課題に挑戦しています。

発達障害、不登校傾向、学力不振、コミュニケーション力の育成等々・・・。ご相談ください。

～自己評価へのご協力有難うございました～ 更なる確かな歩みを！！



絵を描くことを楽しむ子ども達

昨年の4月開所から1年が経とうとしています。子ども達の笑顔、保護者の方々や地域の皆様方の温かい支援に支えられ、なんとか今日まで来ました。療育や教育の課題、運営や経営の課題等々、組織を立ち上げ続けることの難しさ、よりよい実践を積み上げることの難しさを改めて感じているところです。

しかし、子ども達の成長にとってよりよいものにするために更なる努力を続けていきたいと考えています。そこで、1年を振替っての評価をお願いしました(条例でも、我々が自己評価を行うことが義務づけられています)。是非、色々のご意見を聞かせてください。それらを参考にさせていただいたり、直接色々のご意見を伺ったり等する中で、子ども達にとってよりよいものになるようにしていきたいと考えています。

保護者評価より

1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。

はい 81 票 どちらともいえない 19 票 いいえ 0

(現状の過ごし方を把握できていない。人数が増えており、スペースを確保できているかどうか分からないがおそらくできているだろう。)

2 職員の配置数や専門性は適切か

はい 93 票 どちらともいえない 7 票 いいえ 0

3 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画やプログラムが計画・実実施されているか

はい 100 票 どちらともいえない 0 いいえ 0

4 支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明がなされたか

はい 100 票 どちらともいえない 0 いいえ 0

(子どもに寄り添って支援していただいている。説明も丁寧でありがたい。)

5 日頃から、子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか

はい 100 票 どちらともいえない 0 いいえ 0

6 定期的に便り等で活動概要やよてい等の情報を利用者に発信しているか

はい 100 票 どちらともいえない 0 いいえ 0

(便りをいつも楽しみにしている)

7 個人情報に十分注意しているか

はい 100 票 どちらともいえない 0 いいえ 0

8 非常災害の発生に備え、必要な避難訓練等がおこなわれているか

はい 50 名 どちらともいえない 31 名 いいえ 6 名 無回答 13 名
(よくはわからないが、きっとできているだろう。わからない)

9 子どもは通所を楽しみにしているか

はい 88 名 どちらともいえない 12 名 いいえ 0

10 事業所の支援委に満足しているか

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0

事業者評価より

1 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切か

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0
(子どもが多い時は、狭く感じることもある)

2 職員の配置数は適切か

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0
(ややオーバー気味ぐらい充足している)

3 業務改善を進めるための PDCA サイクルに職員が参加しているか

はい 80 名 どちらともいえない 20 名 いいえ 0
(スタートしたばかり、これからの取組)

4 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

はい 60 名 どちらともいえない 40 名 いいえ 0
(これからの取組)

5 職員の資質向上を行うために、研修の機会をかくほしているか

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0
(内容の充実 実地研修の機会があるとよい)

6 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別指導計画を作成実施しているか

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0

7 活動プログラムの立案や改善をチームで行っているか

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0

8 活動プログラムの立案が固定化しないように工夫しているか

はい 40 名 どちらともいえない 60 名 いいえ 0
(放課後の学校(ミニ学校)にならないことを意識したい。大きなプログラム達成に向け、具体的な取組に、みんなでアイデアを集めて工夫できる余地が大きい。)

9 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めこまやかなしえんをしているか

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0
(家庭との共通理解が難しい)

10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援をしているか

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0
(共通理解が必要)

11 支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援内容等をかくにんしているか

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ

12 支援終了後に職員間で必ず支援を振り返り、気づき等を共有しているか。

はい 100 名 どちらともいえない 0 いいえ 0

13 日々の支援の記録を取ることを徹底し、支援の検証改善につなげているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

14 定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性をはんだんしているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

15 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参加しているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

(努めているが、園・学校からの情報がやや少ないと思える。)

16 園や学校、児童発達支援事業所との間で情報共有し相互理解に努めているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

(園や学校の情報が入りにくい)

17 地自立支援協議会等へ積極的に参加しているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

(参加しやすい時間帯を考えてほしい)

18 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

(時間がとりにくい)

19 運営規定、支援内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

(努力しているが)

20 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか

はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0

(課題の多い子については対応ができています)

考察・今後の取り組み

(1) 保護者の評価について

- ① 全体的に大変高い評価をいただきました。支援やお便りに対する高評価は本当にありがたいことでした。
- ② 「子ども達は楽しみにしているか」と、子ども達にとってどうなのかという設問への反応は、指導の側にとっても気にかかる場所でした。おおむね楽しんでもらっているようなのでほっとしました。芦田先生の取り組みも含めてエンジョイタイムの評価が高いことは、うれしいことです。「地域の学び」として、地域の方々も加わってくださっており、本塾の取組の柱の一つでもあるからです。
- ③ 1番と8番のところは、保護者の側からはとても見えにくい事柄なのだと思います。見学希望はいつでも受け入れているつもりですが、実際には参観しにくいのかもしれません。参観をしていただく機会を工夫する必要がありそうです。

(2) 職員の評価

- ① 全体には、子ども達の課題に創意工夫と職員の効果的な連携で取組を進めることができた。結果、子ども達の成長の中に、その成果が表れている部分もある。
- ② しかし、8の問いにみられるように、職員の方は、マンネリにならないように、より効果的な取組は等と悩みながら進めている。机上の議論・学びだけでなく、5にみられるように実地研修を求めている。実践交流の場があると互いの学びも深まるのではないか。

(3) 全体に

- ① なかなか厳しい1年でした。子ども達を目前にした実践に、慣れない組織運営や経営に悩み続けました。しかし、子ども達の笑顔が、我々を支えてくれました。この後も、子ども達の課題に寄り添った実践に取り組んでいきたいと思っています。どうぞご支援を賜りますようお願いいたします。
ご協力ありがとうございました。

～ コミュニケーションで繋がる子を育てるための上手な関わり方を考える～

②歩行や登山などは最も効果的なトレーニングである〈原始反射の抑制〉

じっとしておれない、つま先歩き、飛び跳ね、走り出し、手つなぎを嫌がる行為などは、原始反射の残存によるもの等といわれています。

これまでも、何度か触れましたが、正しい歩行スタイルでの鉾や登山を取り入れましょう。障害のあるなしにかかわらず、自立歩行の獲得に加え、マラソンやキャッチボール、水泳などの運動をすることで、身体のコントロール力が高まります。

更には、ボディイメージの希薄さを改善するためにも運動は有効だといわれています。感覚統合も進むことでしょう。さらに、集団スポーツは社会性やコミュニケーションを育てることに役立っています。

見えない世界が見えてきた

事業所評価の取組にご協力をおねがいします

寒さの中にも春の風情を感じる季節になってまいりました。いつもお世話になっています。

さて、私どものような児童発達支援・放課後等ディサービス事業所は、より一層充実した支援にしていくために、年に一回皆様方のご意見を聞かせていただく機会を設けるよう法に定められています。

そこで、“令和2年度児童発達支援・放課後等ディサービス評価表”を配付いただきました。おいそがしい時とは存じますが、ご覧いただき回答していただきますようお願いいたします。

3月13日（土）を締め切り日とさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

3月のエンジョイタイム等のスケジュール

日	3月6日（土）	13日（土）	20日（土）	27日（土）
内容	絵画教室	読み聞かせ	春分の日 お休み	自然観察
ランチ	チキンライスと スープ	ハヤシライス スープ		季節混ぜご飯 お汁

※子ども達にいろんな体験とお楽しみを準備しています。通常のご利用以外に、1日（あるいは、その時間だけでも）、参加をご希望の方は、あらかじめご連絡をください。ランチ作りはエプロンが必要です。